

回胴倒錯者

— PACHISLO FREAK —

迎春

みなさま明けましておめでとうございます。締切日と発刊日の時差により、ご挨拶が遅れたことをご容赦下さい。

皆様のご愛顧、またご支持のおかげさまで当コラムも第50回を迎えることができました。深く御礼申し上げます。まことにありがとうございます。私と致しましてよりいっそう精進していきますので、これからもうよろしく願います。

陰と陽

魅惑の設定6。どんな機種であろうと設定6の札が刺されれば必ず誰かが座り、稼働はほぼ100%になる。しかし、6とは名ばかりの機種も散見された。その代表的なものがIGTジャパンから発売された「ウィニングポスト」だ。かなり特異な性質をもっており、設定6で全く出ない反面、設定1で爆発する。稼働率を加味して考えると、設定1での万枚突破率は吉宗よりもはるかに高く、私を知る中でも断トツだ。我々仲間内では「大みそかはウィニングポストを打て」と言うほどだった。実際それを某店にて実行してみたところ、思惑通り瞬く間に5千枚を吐き出した。

次に「ドラゴンギヤル」と「大繁盛本舗」。これらはどの設定を使っても出ることは稀だった。その他にも出にくい機種

はあったが、これらの機種は特に印象深く、そしてこれらは同時に設定入魂を悩ますものでもあった。

その日はゲッツ主催の「ゴールドラッシュ」が開催されていた。雑誌にまで掲載される大イベントだけに、あんまり恥ずかしい出玉では申し訳ないと思い、前日かなり気合を入れて設定配分を決めていた。もちろんウィニングポストは全台設定1だ。その他「出ない系」の機種にはどれか出てくれよ、という思いで全種類の設定を入れていた。

朝から大勢のお客さんの来店があり、かなりの高稼働だった。それもあって普段ではほとんど稼働のない「出ない系」機種も多数のお客さんが遊戯していた。そしてやはりそれらは例の機種を除いて全く出ていない。もちろんその例の機種とは「ウィニングポスト」のことである。その爆発ぶりを直接見たいと思い、その島まで行ってみるとそれを遊戯していたお客さんに話しかけられた。

「主任さんやんか、すごい出てるけどこんなに出して大丈夫？」

「大丈夫です、僕らの給料が減るだけですよ(笑)」

「ところで、この台、ズバリ設定5とちやうどで、隣が設定6！」

「どうなんでしょうね、私にはわかりません(それは1だ!)」

「またまた1、知ってるくせに、5やろ？」

「さて、なんでしょうか？6でしょう

た。きつと誰かに「ウィニングポストの設定5は爆発する!」とか話しているんだろうなあ…。

この機種、本当に不思議と高設定だとならない。全台設定6にしても黒字なんていうのもザラだった。もちろん設定1で必ず勝てるわけでは無く、大負けも多々ある。こういう機種において、出したい日に全台を設定1にするのはどうだろうか？私としてはそれが正解と感

じるが、なにせ設定1「本日ウィニングポストコーナー全台設定1確定!」とか、告知があっても何の自慢にもならない。「この店バカじゃない?」と思われるだけである。しかし「本日ウィニングポストコーナー全台設定6確定!」という告知はかなりインパクトがある。腐つても設定6、そのブランド意識は出ないとかっていてもなかなか拭い去ることはできない。今までが出なかっただけで、今日

は出るんじゃないか?何度も何度もこの設定6という名のブランドに騙されてきた。最近ようやく自信を持って言えます、ウィニングポストは設定1が一番です、と。それでも私が打ち手だったとして、設定1の札が刺さった台と、設定6の札が刺さった台があったとすると、迷いながらも設定6に着席するんだろ

うな、いや、迷わず設定6にするかな…。

言い忘れていたが、他の出ない系機種である「ドラゴンギヤル」と「大繁盛本舗」はやっぱり店側の大勝だった。

飴と鞭

朝から並んでくれるお客さんはとても大切な存在だ。お客さんとしても、きつと自分なりの狙い台があるのだろうし、またスロットに詳しいものならば、設定変更を見極めたり、また据え置きを狙ったりとそういった理由から朝の状態を調べるといいうのも理由の一つだろう。私としてはそれを知っているからこそ、あえて分かりやすいモノも置いていた。ただ、それは逆にその行動を利用した罠も多々使用させてもらった。もちろんそれは公平性を考えての行動だ。

朝の特典の代表としては、レア小役が揃っていたり、リーチ目が置いてあったりする。大抵は閉店後に遊んでいて偶然当選したものを翌日まで放置というものだ。お客さんはこれらを見つけると必ず着席するが、残念なことにその台で粘ることはない。低設定と思い込むのだ

ろうが、実はそうとも限らず、意外と高設定も含まれていた。他にはたまに朝一から設定5や6の札を刺して告知してある台を用意するなどしていた。

反面、罠の方も多様に用意されており、こちらは実際の事件をもとに解説していこう。

ある日の閉店後、ふと鬼武者に目をやると、リール上にベルが並んでいた。払い出し表示が点いており、これは電源を一度落としても消えることはなく、設定を変更するか1ゲーム回すかしないと消えないのだ。よくある設定変更を見抜く方法の一つである。速やかにメダルを3枚投入しそれを回してバラケ目にした。しかし、よく見るとその隣の台もベルが並んでいる。そしてその隣の台もベルが揃えられていた。全台を1回転させようとと思ったその時、私の心に悪魔がささやいた。(ここまではやるのはやりすぎだ、少し罠を仕掛けてみてはどうか?)

事務所に帰り、すでに決めてある設定表を取り出し鬼武者の設定変更予定だ

鬼武者3(白子)／2005年3月
大量獲得&ストック機。もちろんハマりもきい。後継機として新鬼武者が現役稼働中。



ウィニングポスト(IGT)／2005年7月
ゲーム性やリール配列は個人的にかなり高評価。万枚出た方、きつとそれは設定1だと思っています…。

か?いや、もしかしたら1かもしれないよ」

「いや、それはない。これは5だね!」
「だったらいいですよね(それは1だ!)」

心のなかでそれは1です、1が一番出るんです、そう訴え続けてみた。

結局そのおじさんは設定5と信じ続けその日の万枚1番乗りを成し遂げた。ついでに隣の台である、おじさんが6だと信じ続けたそれは最後まで設定6と思われ続け、5千枚ほどを吐き出した。「やっぱり、5の方が爆発するね、隣の6は安定してるつばいけど爆発しなかつた」

「そんなもんなんですかね。またのご来店お待ちしております!」(どっちも1です!)

そのおじさんはとても満足げに帰っていつ

4号機、設定6でも出ないランキング(超個人的ランク)

- 1位…大繁盛本舗
- 2位…ポパイ
- 3位…ドラゴンギヤル
- 4位…ウィニングポスト
- 5位…プラネット999
- 枠外…北斗の拳SE

った箇所をすべて据え置きに書き直した。

「店長、鬼武者はすべて据え置きにします。よろしいですか?」

「いよいよ別に。でもなんで?」

「大した理由ではありませんが、お客さんに仕込まれたので、ちよつとしたずらです」

「ふーん」

ホールに戻り、すべてを1回転させ、そしてリールを手で回して元々揃っていたベルを揃えなおす。こうすることによって、払い出し表示は消え、リール上にはベルが並んでいる。さらに手で回して揃えたものであるため、あたかも設定変更したように、朝11回転目にリールのブレがでる(サミー系の機種は設定変更すると、1ゲーム目に若干リールがブルッて感じになる)これで完了だ。まるで全台設定変更したように見える。鬼武者には設定変更後のリセットが働いたため、きつとカニ歩きで各台を回るに違いない。あとはこれを仕込んだ人物が明日の朝一から来るかどうかだ。しかしこれもそうたいした問題ではない。8台も仕込んだのだ、ここまではやるぐらいだから、必ず朝一番でくる。私はそう確信していた。

◆次回予告◆

はたしてそれを仕込んだ人物は朝から来るのだろうか?そしてA氏が仕込み返したトラップは炸裂するだろうか?次回「疑義」乞うご期待!

A氏プロフィール

三重県出身。三重の高校を卒業後、進学のため大阪へ。学業よりもパチスロに専念してしまいお決まりコースの大学中退。中退後3年間はパチスロで生計を立てる。その後サラリーマンになるも副収入はパチスロで。結婚のため三重に戻りホール店員となる。現在は知識と経験を生かし某店で設定師として手腕を振るっている。目押しレベルはスイカの種まで直視できるほどの異常っぷり。

